

JST 国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）
次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）

千葉大学 AI 特化型・挑戦的融合イノベーター
博士人材養成プロジェクト－AI コア

令和 8 年（2026 年）4 月採択
募集要項

令和 7 年 11 月 28 日

国立研究開発法人科学技術振興機構
国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）
次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）

「千葉大学 AI 特化型・挑戦的融合イノベーター
博士人材養成プロジェクト－AI コア」
募集要項

<プロジェクトの概要>

千葉大学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が公募した「次世代研究者挑戦的研究プログラム」における「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生）」に採択され、令和 6 年度から「AI 特化型・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト－AI コア」として事業を実施することになりました。

本プロジェクトは、AI 分野の先端研究や AI と他分野との先端融合研究に取り組む有望な博士後期課程学生に対し、十分な研究奨励費および研究費を支援して、研究に専念できる環境を整備するとともに、AI 分野の多彩な専門家集団からの指導・助言を受け、次世代 AI 分野（AI 分野および AI 分野における新興・融合領域）の開拓・牽引につながりうる革新的・挑戦的 AI 研究を学生が実施することを支援するものです。このプロジェクトを通して、大学内に次世代 AI 分野の革新的・挑戦的研究を目指す博士後期課程学生の研究集団（AI コア）が形成され、この集団から次世代 AI 分野を開拓・牽引する質の高い博士人材が継続的に輩出されることを狙っています。また、これら博士人材が我が国の次世代 AI 分野のリーディングサイエンティストに成長することで、我が国のイノベーション創出や産業競争力強化が促されることを期待しています。

なお、本プロジェクトに採択された学生は、令和 6 年度から新たに開始された「千葉大学 全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」（以下、「全方位プロジェクト」という。）が提供する様々なキャリア開発・育成コンテンツを利用することが可能です。

「AI 特化型・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト－AI コア」ウェブサイト



<https://imo.chiba-u.jp/BOOST-AI/>

支援元の国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の方針により、令和 11 年 3 月で支援を終了します。またこれにより、本プロジェクトの選抜試験は、「令和 8 年（2026 年）4 月採択」をもって終了する予定です。

（注意：募集要項の内容は、政府予算の状況により変更になる場合があります。）

1. 募集人員

4名（予定）

2. 申請資格

申請できる者は、次の(1)から(5)の全てに該当する者とします。

(1) 令和8年4月1日時点で、千葉大学大学院 博士後期課程の次に記す専攻に在学する者（申請時点で千葉大学大学院 博士後期課程 入学者選抜試験の受験予定者も含む）。

人文公共学、数学情報科学、地球環境科学、先進理化学、創成工学、基幹工学、
情報・データサイエンス、環境園芸学、先端医学薬学、先進予防医学共同、
先端創薬科学、看護学

ただし、申請時に休学中の者、令和7年10月または令和8年4月の4年制2専攻（先端医学薬学、先進予防医学共同）入学者は除く。

(2) AI（機械学習、行動科学、ソフトコンピューティング、マルチエージェント技術など）に関する先端的分野、もしくはAIと他分野との先端融合分野に関する研究に携わった経験があること。加えて、支援期間中に次世代AI分野に関わる研究成果について学会発表や論文発表ができること。

(3) 日本における次世代AI分野のイノベーション創造や産業競争力強化を担う意欲を有し、日本国内の大学もしくは企業等において、次世代AI分野の研究開発を行う意思があること。

(4) 本プロジェクトにおいて実施する選抜試験を受験できる者。

(5) 次の(ア)から(ケ)のいずれにも該当しない者

(ア) 標準修業年限を超過している者。または、過去に6ヶ月単位ではない休学をしたために、申請の時点で支援期間が6か月未満となることが確定している者

(イ) 標準修業年限の満了月が、申請時点で令和11年3月を超える見込の者

(ウ) 全方位プロジェクトに在籍している者

(エ) 独立行政法人日本学術振興会に特別研究員として所属している者

(オ) 本学や企業等から、生活費相当額として十分な水準^{*)}で、給与・役員報酬、奨学金（給付型）等の安定的な収入を得ている者

^{*)}生活費相当額として十分な水準は、240万円／年を基準とします。

^{*)}毎年1～12月の収入額（見込みを含む）を基準とします。

^{*)}生活費相当額ではなく、研究費を支援する事業であれば差し支えありません。

(カ) 本プロジェクトの在籍期間と重複する期間に、国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生または本国からの奨学金等の支援を受ける留学生

(キ) 大学推薦の奨学金または併願不可の奨学金に申請している者。現在、同奨学金を受給している者のうち、本プロジェクトの在籍期間と重複する期間の奨学金受給が決定している者

(ク) 併給不可の財団奨学金に申請している者。現在、同奨学金を受給している者のうち、本プロジェクトの在籍期間と重複する期間の奨学金受給が決定している者

(ケ) 併給不可の日本学生支援機構奨学金に申請している者。現在、同奨学金を受給している者のうち、本プロジェクトの在籍期間と重複する期間の奨学金受給が決定している者

※併給併願の可否は、申請者自身が支援元に確認すること。

※本プロジェクト申請後または採択後のプロジェクト在籍中に、上記(ア)から(ケ)のいずれかに該当するようになった場合は、本プロジェクトを辞退していただきます。

3. 申請手続

(1) 申請書受付期間

令和7年11月28日（金）から令和8年1月7日（水） 14:00まで【厳守】

※ 申請書類は、電子メールでの提出とします。郵送での受付は行いません。

※ 受付期間内に受信できなかつた申請は、受理しません。

※ 申請後、再提出を求めることがあります。連絡が取れるようにしてください。再提出の期日も申請書受付期間であるため、期日に余裕を持って申請してください。

(2) 申請書提出先

千葉大学 A I 特化型プロジェクト担当

E-mail : boost-ai@chiba-u.jp

(3) 注意事項

※ 申請書類の内、「様式3.指導教員推薦書」については、Microsoft Formsより指導教員本人（令和8年4月時点の見込）が直接、回答してください。

※ メールの件名を「A I 特化型選抜試験申請 専攻・学年・氏名」とすること。専攻・学年は令和8年4月時点の見込とします。

※ 申請書類に記載する所属先及び学年は、全て令和8年4月時点の見込の情報としてください。

※ 添付ファイル容量は合計20MB以内としてください。

容量を超える場合は複数回に分けて送付ください。

千葉大学の「ファイル受渡システム」を利用することは可としますが、その他のクラウドストレージを指定するダウンロード方式での提出は認めません。

※ 申請書に設定するパスワードは1つに統一し、PDFの権限設定にパスワードを設定しないこと。

※ パスワードの通知は同じ件名を使用し、申請書類提出のメールと分けて送信してください。

様式は、必ず最新の様式をダウンロードすること。
(過去の選抜試験で配布した様式は受付不可)

<https://imo.chiba-u.jp/BOOST-AI/>

<申請者本人から提出するもの【代理不可】>

提出書類	摘要
(様式1) 選抜試験申請書 (PDFデータ)	<ul style="list-style-type: none"> • ファイル名を「01. 申請書（専攻 学年 氏名）」に変更すること。 • 必要事項を漏れなく記入すること。 • パスワードを設定すること。
(様式2) 論文等研究業績 (PDFデータ) ※提出がなくても申請可。ただし審査に関わる。	<ul style="list-style-type: none"> • 自身が中心となって執筆した、特に重要と考えられる以下の(a)～(f)いずれか3篇以内を提出すること。 • AI分野に関連する論文が1篇以上含まれていることが望ましい。 • ファイル名を「02. 論文（専攻・学年・氏名）」に変更し、複数ある場合は氏名の後に番号を付すこと。 <p>【提出を認めるもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 原著論文 (b) 学会発表論文 (c) 紀要論文 (d) 著書 (e) 学会発表ポスター・スライド (f) 学会発表抄録 <p>※ 査読有無を問わない。 ※ 採録決定前や発表前も可。</p> <p>【提出を認めないもの（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学位論文（修士論文、卒業論文） • 申請書で記載する研究業績「受賞」「その他の特記すべき活動」を示す書類

<指導教員から提出するもの【代理不可】>

提出書類	摘要
(様式3) A I 特化型・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト — A I コア 指導教員推薦書 (Microsoft Forms)	<ul style="list-style-type: none"> • 指導教員が回答する申請書類です。 • 申請者から指導教員に依頼すること。 • 指導教員本人（令和8年4月時点）が下記URLのフォームから回答すること。 <p>回答期日：<u>1月7日（水）14:00【厳守】</u></p> <p><u>https://forms.office.com/r/PEkbpGeWb9</u></p>  <ul style="list-style-type: none"> • 本学のユーザーのみアクセス可。 利用者番号@cloud.chiba-u.jp パスワードは統合メールと同じ。 • 上記URLにアクセスできない場合は、(2)申請書提出先まで連絡すること。

4. 受験票の返送

- ※ 令和8年1月30日（金）までに申請者に受験票をメールにて送付します。
- ※ 2月6日（金）までに、受け取った受験票に写真を貼り付けたPDFまたは画像データを、メール添付にて返送してください。

5. 選抜方法等

選抜は、書面審査（申請書類等）および面接（日本語または英語）により行います。

なお、オンライン試験は実施しません。

(1) 面接日時

令和8年2月18日（水）または2月19日（木）

いずれか1日の9:00～17:00の間で、本プロジェクトが指定した時間に実施します。

※日時の指定はできません。

※ 令和8年1月30日（金）までに、面接日時および受験案内をメールにてお知らせします。

2月2日（月）を過ぎても届かない場合は、文末の「問合せ先」までお知らせください。

(2) 面接場所

千葉大学西千葉キャンパス内

※詳細は受験案内にてお知らせします。

(3) 面接内容

一人30分程度（プロジェクターによる発表15分程度、質疑応答15分程度）

発表内容は以下のとおりとします。

- ①これまでの研究成果
- ②今後の研究計画
- ③博士後期課程修了後のビジョン

【留意事項】

- ・面接当日は、用意したデータファイルを印刷（コピー）したものを5部持参してください。（スライド4枚／1頁（横方向）／A4両面カラー）
- ・プロジェクターは用意しますので、HDMI接続できるパソコンを持参してください。
- ・発表用データはパソコン内部のハードドライブに保存し、別途、USBメモリやポータブルHDD等の記憶装置を持参してください。接続機器の不良があった場合のみパソコンを貸し出します。
- ・記憶装置には、PowerPoint等の元データに加えて、PDFデータも保存しておいてください。
- ・ノートパソコンを持参できない場合は、面接試験の3日前までにお申し出ください。
- ・持参忘れについては当日対応できませんのでご注意ください。（プリンター、ホチキス等の文房具の貸し出しもできません。）

6. 注意事項

(1)申請書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。

(2)合否の問い合わせには一切応じません。

(3)選抜試験の過程で収集した個人情報は、選抜試験の実施の他、管理運営業務、就学指導業務、プロジェクト選抜方法等における調査・研究に関する業務を行うために利用します。

(4)選抜試験の日程を変更する場合があります。その際は、本プロジェクトのウェブサイトもしくは、申請者にメールにてお知らせします。

(5)全方位プロジェクトとの併願は可能ですが、申請時に全方位プロジェクトに在籍している場合は申請資格の対象外となります。また選抜試験の結果、本プロジェクトに採択された場合は、本プロジェクトを選択していただきます。

7. 合格発表

令和8年2月25日（水） 14:00

※合格者はプロジェクト担当から本人のメールアドレスに通知とともに、本プロジェクトのウェブサイト上で公表します。

※合格者に2月27日（金）までにメールが届かない場合、文末の「問合せ先」へご連絡ください。合格は指導教員にも通知します。

※合格通知書とともに、採択後の手続について案内を送付します。指定の期日までに事前の相談なく採択後の手続を行わない場合は、プロジェクト生の身分を失います。

※合格の辞退を希望する場合は3月31日（火）までに、文末の「問合せ先」まで連絡してください。

※合格者の辞退等により、追加合格を発表することがあります。

8. 支援期間

- ※ 令和8年4月から、標準修業年限内において令和 11 年3月までの最大3年間を支援します。ただし政府予算等の状況により変更になる場合があります。
- ※ 留学生は、来日してからの支援開始とします。来日後、翌月1日(1日来日の場合は当日)に支援を開始します。支援が遅れた分の延長はありません。
- ※ 休学期間中は支給を停止します。
休学期間が2年以内に終わった場合は、復学の手続きをすることにより、支給が再開されることがあります。ただし休学期間が2年を超える場合、プロジェクト生としての資格を失います。また本プロジェクト終了となる令和 11 年3月を超えての支援はできません。
- ※ 退学あるいは申請資格を満たさない状況になった時点で支援を終了します。本プロジェクト申請後またはプロジェクト採択後の在籍中に「2.申請資格 (5)(ア)から(ケ)」のいずれかに該当するようになった場合も、申請資格を失うか、支援を終了します。

9. 支給額

プロジェクト採択後、必要な手続きを完了した後に、研究費と研究奨励費（生活費相当）を合わせて年間 390 万円（半年で支援を終了する者は半額の 195 万円）を支給します。ただし政府予算等の状況により変更になる場合があります。

(1) 研究費 年額 150 万円(半年の場合は年額 75 万円)

研究費は大学の管理の下で会計規程等に基づき執行していただきます。年度繰り越しはできません。
予算の配分は5月下旬から6月上旬を予定しています。

(2) 研究奨励費 年額 240 万円／月額 20 万円(半年の場合は年額 120 万円／月額 20 万円)

※希望者は研究奨励費を月額 15～20 万円の範囲内で調整することで、研究費の年額を 150～210 万円(半年の場合は 75～105 万円)にすることができます(当該範囲を超える調整はできません)。

※金額調整についての申請は、採択後の手続時と、翌年度以降は年度始めに受け付けています。

※プロジェクト採択後、毎月提出いただく所属確認報告書の確認をもって、個人の銀行口座に毎月振込みます。(初回は4月と5月の2か月分を5月 25 日に振込予定。)指導教員の承認が毎月必要です。

※研究奨励費は雑所得として課税対象となり、各自で確定申告・納税が必要です。家族の被扶養者になっている場合は、必ず扶養義務者に伝えてください。

※健康保険や扶養手当等における扶養の扱いについては、扶養義務者の職場等の担当に申し出でください。

10. プロジェクト生の義務

本プロジェクトの学生は、支援期間中、自身の研究の遂行に加え、本プロジェクトが用意する AI セミナーへの参加と AI 育成チームとの定期的な面談が義務づけられます。また、支援期間中に自身の次世代 AI 分野の研究成果に関する学会発表や論文発表が求められます。

参加状況および年間の研究遂行状況を確認し義務履行が著しく不十分な場合は、年度の途中であっても支援を打ち切る場合があります。

11. 全方位プロジェクトの提供するキャリア開発・育成コンテンツについて

本プロジェクトの学生は、希望により全方位プロジェクトの提供するキャリア開発・育成コンテンツ（留学支援、キャリアパスセミナーの受講等）の支援を受けることが可能です。採択後に適宜、案内します。

【問合せ先】

千葉大学 AI 特化型プロジェクト担当

E-mail : boost-ai@chiba-u.jp